

みわ塾 講座内容

2004年3月17日(第12回)

今年度修了の認定証(裏ページ)

次年度の予定

毎月1回 原則第3水曜日は今年と同じ!
2時から4時まで
6時半から8時半まで

場所: 新宿区榎町地域センター



講座責任者 三輪 主彦
(みわかずひこ)

e-mail kazmiwa@aol.com

ホームページ <http://kazmiwa.web.infoseek.co.jp/>

第12回 みわ塾次年度の予告 + ミニパーティー

1. 今年度の内容

- 第1回目** **宇宙に始まりがあった。**
真空のエネルギーによってビッグバンが引き起こされた。
- 第2回目** **はじめの元素は水素だけ。**
我々の体は超新星爆発でできた物質の残骸でできている。
- 第3回目** **DNAとはなんだ**
それは物質だ。生物はどこで意志、知恵を獲得したか？
- 第4回目** **幸運に恵まれた星、地球。**
太陽からの距離、時間、大きさ、重さ、海、大陸、すべてが理想的だった。
- 第5回目** **清里の自然の中で。**
火星の接近、飯盛山の植物、シルクロード走り旅、岩魚のほう葉みそ焼き、私設天文台見学など
- 第6回目** **生物の大爆発！**
生物は数十億年間何をしていたか？ある時、突然不可思議な動物たちが出現した。地球の時間、地球の大きさ。
- 第7回目** **生物大絶滅**
生物は絶滅と爆発を繰り返す。恐竜って本当にいたの？絶滅だけが注目されるが、2億年近く生き延びていた。
- 第8回目** **大気環境変化**
地球が温暖化するとどうなるのか？もっと恐ろしいことが、オゾン層破壊。天気図を描けるようにしよう。
- 第9回目** **自然災害と人々の暮らし**
揺れ動く日本列島 火山の噴火。富士山は噴火するか。地震の震源の求め方。プレートってなんだ。
- 第10回目** **我ら人類の祖先 ネアンデルタール人？**
ミトコンドリアイブが我らの祖先？ ホモサピエンスにはおばあさんがいた 人間圈を作った人間
- 第11回目** **人類の未来 未来は暗いのか？**
エネルギーの偏在 富の集中 現在の科学では対応できない 新たな環境科学の創造が必要。

04年4月からの講座

毎月講座（原則第3水曜日、4月5月決定）を行います。

時間はこれまでと同じく

午後2時から4時まで

午後6時半から8時半まで。

場所はこれまでと同じ。

新宿区榎町区民センター

もう一つの計画は「旅するみわ塾」

適宜、野外活動を行います。

近場、遠く、海外（モンゴル、ミャンマー or ベトナム）

毎月講座（予定）

第1回（4月21日）

「東京の地形」（講師 M輪主彦「みわ塾」）

東京の地形は山の手と下町からできている。その境目には坂がある。坂の名前を覚えれば、東京の案内はできる、というくらい目印になる。

坂を中心に東京の自然を探る。

野外講座（4月24日（土））

……「早稲田から雑司ヶ谷を歩く」に参加予定の方はぜひ聴講してください。

第2回（5月19日）

「数学とはなにか」（講師 TANI 畑 充）

数学者は何をしているのか？ なにがおもしろいのか？ 「ゼロ」は人類史上の大発見というが、どうしてなのか。

数学と言えば、身の毛がよだつ方もおられるかもしれませんが、教え方によってそうならないのです。谷畑先生に数学とは何かを講義してもらいます。決して数学テストなど行いませんから安心して参加してください。

第3回(6月23日(第4水曜日))

「実験をとおして化学のおもしろさを知る」(講師 KAZA 間 徹)

食の安全が心配されている現在、私たちは何を基準に考えればいいのか。最前線で研究を続けてこられた先生に講義をしていただく。

おもしろい実験をとおして化学のおもしろさと、生活の関連を伺えるのではないかと考えている。

第4回(7月21日)

「視点を変える」(講師 NAKA 原 道高)

「視点を変える」という言葉をよく聞くが、実際にはどのように変わるのか? 数多くの事例を見せてもらう。人間の目の感覚は科学的にはどう解明されるのか。目から得られた情報はとはどんなものか。情報教育に造詣深い中原さんに講義をしてもらう。

第5回(8月21、22、23日(土、日、月))

「夜星を見上げて」(講師 M 輪 主彦)

今年も清里、緑陰講座です。夜は星を観察。昼間は川原でお弁当。昼寝。あるいは飯盛山登山。などなど。

下島伸介さんの植物の観察会もあります。昨年の中山さんのようなゲストをお願いしています。

第6回(9月15日)

「紅葉現象の科学」(講師 MOMO 瀬 忠征 東京農工大研究生)

紅葉と言えばモモセというほど名声は高い。秋の紅葉のメカニズムなどとうに分かっていると思われる。しかし本当のところは分かっていない。百瀬さんはその現象解明に40年間取り組んでいる。その間に新しい色素のエロデニンを発見し化学構造を解明するという業績をあげた。現在も紅葉現象の解明の最前線に取り組んでいる先生の講義をいただく。科学とは何かという点についても造詣が深い。

第7回(10月20日)

「自生のクルミで、おいしくクルミ餅をつくる」(講師 KAMA 田 由夫)

前の週にトトロの森でクルミを採取します。そのクルミを使って、おいしい

クルミ餅を作ります。場所は会議室ではなく、調理室と工芸室です。この回は実習が主です。環境問題はこんな切り口で考えることが大事で、しかも楽しく、おいしいのです。

講師はこの道何十年。秘伝を伝えるのは今回が初めての方です。

前期の予定はこんな様子です。私が聞きたいと思っている人たちを選びました。それぞれの分野で活躍されている私と同年代の人たちです。大人に対して興味深く語ってくださると思います。お楽しみに！

10月以降は下記の内容を計画しています。現在交渉中です。

物理学の最前線、	燃料電池とはなにか	医療の現場から
海の環境	宇宙の彼方に何がある	デジカメ活用法
中高年の身体学	コンピュータが社会を変えるか	

などを考えています。この他に何かぜひ聞いてみたいという事があれば、講師を頼みにいきます。ぜひ情報を！

旅する「みわ塾」

4月24日（土曜日）「東京の地形」をめぐる散策

早稲田から穴八幡、高田富士、やまぶきの里、目白不動、旧鎌倉街道、雑司ヶ谷鬼子母神、大鳥神社、

3時間ぐらいの散策です。集合10時、地下鉄東西線「早稲田」駅をでて、穴八幡入り口、交番前集合。

5月22日（土曜日）「天園からみる鎌倉……懐石料理を楽しむ」

半分ハイキングです。鎌倉駅から鶴岡八幡宮をから来迎院、その近くからハイキングコースにはいる。木の間越しに海が見える。鎌倉が山に囲まれた要害の地であることをみながら、明月院か円覚寺に降りる。明月院はアジサイ寺。6月は歩けないぐらいの人出。

駅近くの料亭で懐石料理を味わう。鎌倉駅改札口10時集合

6月11日(金)から17日(木)「モンゴル 草原ツアー」

モンゴルに詳しいYAMA本千夏さん(地平線会議仲間、みわ塾生徒、みわ娘同級生)にのんびり、ゲルに泊まるツアーを計画してもらっています。今まで行ったことがある人も、ひと味、ふた味違った旅ができます。ゆっくり、楽しく、ためになる旅です。金額は20万円程度になりそう。現在募集中! 申し込みはお早めに!

7月24日(土曜日)「中山道の難所、小仏峠を歩く」

高尾山の裏側、登りはケーブルカー。歩いてもいいですよ。半分ハイキングです。小仏峠の旧街道を歩き、相模湖へ出ます。行程4時間。集合京王線高尾山口、9時半 お弁当、水筒必要。

8月21,22,23日(土、日、月)「清里・緑陰講座」

今年も清里、緑陰講座です。夜は星を観察。昼間は川原でお弁当。昼寝。あるいは飯盛山登山。などなど。

下島伸介さんの植物の観察会もあります。昨年の中山のさんのようなゲストをお願いしています。

9月18日(土曜日)「丹那断層、見学」

1930年11月におきた北伊豆地震によって、掘削中の丹那トンネルは2mもずれた。地表でも神社の石段がずれている様子を見ることができる。大地の動きのすごさ、地球は生きているとの実感を得られる場所です。交通の便が悪いので、行き方は後ほど知らせます。

10月16日(土曜日)「トトロの森でくるみ採り」

まもなく紅葉の盛りになる里山を散策し、二次林について考える。人間に重なる自然は、自然のままでは維持できない。手入れをしてこそ持続的な森が維持できる。昔からの人間の知恵はなかなかだ。

次回「みわ塾」の実習用のクルミをとります。

11月13日(土曜日)「三浦半島 城ヶ島 地層見学」

三浦半島先端にある「城ヶ島」は地層の博物館と言われるほど様々な地層がみられます。ふだんはあまり注意することがない、地層を詳しく観察して、地球の力を感じてみましょう。詳細は後日!

認定証・CERTIFICATION

●●●●●●●●様

●あなたは 大人のための科学講座「みわ塾」に参加され、よく研鑽されたことを認定します。

自然科学の目的は130億年の宇宙の歴史、46億年の地球の歴史の中から、何らかの法則を読みとり蓄積して次世代に受け継いでいくことです。みわ塾では自然を観測、観察して得られた人類の知識の一部を伝えました。すでにわかっていることも沢山あるが、わかっていないことの方がはるかに多くあるということを理解されたと思います。

ここでみなさんが学ばれたことを、次世代にどう伝えたらよいのかはみなさん自身で考えてください。みなさんは、みわ塾で研鑽を果たしたのですから、十分にその知恵を持っておられるはずです。

健康に留意され、ちょっとだけ世のため人のために知恵を使ってください。

(もしまだ自信がもてないなあ、と思ったら2年目のみわ塾にまた参加してください。)

2004年3月17日

、ã•l, Ì, ½, ß, Ì, ÈŠw•u•À •u, Ý, í•m•v

•G-Ö@ã•F

